

発行

薩摩川内市 895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3-22 0996(23)5111 0996(20)5570 0996(22)8115(直通) \*音声案内後に内線番号を押してください。

閉庁日および時間外 0996(23)5115

編集

本庁企画政策部広報室(内線632・633) koho@city.satsumasendai.lg.jp

各支所など

- 樋脇支所 895-1292 樋脇町塔之原1173 0996(37)3111 0996(37)2252
入来支所 895-1492 入来町浦之名33 0996(44)3111 0996(44)3117
東郷支所 895-1106 東郷町斧渕362 0996(42)1111 0996(42)0767
... (list continues)

広報電話

0120(894)256 \*夜間救急当番医や水道サービスセンターの情報が電話で確認できます。

担当者の声

STAFF'S VOICE

広報紙は、皆さんの最も身近な情報誌として、大切な情報をお届けし、また楽しく読んでいただけるように広報室職員全員でどんなテーマの記事にするのか、どんな写真を使用するのか、どんな記事内容にするのか、意見をぶつけ合いながら作っています。広報紙で最も重要なのは、そこに登場する市民の方です。地域のまちづくりに取り組まれている方、さまざまなイベントを通して、地域を盛り上げてくださる方、スポーツで活躍されている方など、皆さんの活躍を広報紙を通して紹介し、皆さんに元気を届ける、それが私たちの仕事です。

取材した方の魅力、取り組まれていることなど、地域が明るくなるニュースを、その方の思いをくみ取り、少しでも分かりやすく、少しでも多くの方に読んでいただきたいと、広報紙1冊のたった1ページにすぎないその記事に思いを込めています。

4月からは転勤先の業務。たくさんの知識や経験を身に着けて成長した姿で2年後帰ってきます。今まで取材させていただいた皆さん、ありがとうございました。いってきます。(堂前)



◎今月の表紙

今月の表紙は、特集「食べ物への感謝を忘れずに食品ロスを減らそう」から、食べ残したピザが廃棄されてしまう様子を再現しました。

スーパーに行けばたくさんの食材があり、飲食店では好きなものを注文して食べることができる一方で、日本の食品ロスは特集にも書きましたが、想像を絶する数字です。

表紙の写真のように「まだ食べられるのに、もったいない」と言いたくなるような状況がこの瞬間にもさまざまところで発生しています。

本特集をきっかけに、少しでも多くの方が、「なぜ食品ロスを減らさなければならないのか。自分には何ができるのか」そんなことを考えていただければ、少し未来が変わるかもしれません。

\*撮影に使用したピザは撮影メンバーで残さずおいしくいただきました。

<目次>

- P 2 施政方針の概要
P 4 食べ物への感謝を忘れずに～食品ロスを減らそう～
P 8 ゴールド集落支援について
P 10 市民大学(公民館講座)前期講座のご案内
P 12 公民館自主学級生を募集します
P 14 投票区の見直しを行いました
P 16 特定健診・長寿健診を受診しましょう
P 18 短期人間ドックなどを補助します
P 19 まちの話題
P 20 企業のチカラ/今月の起業人
P 21 私のFood記
P 22 情報掲示板
P 28 読者のひろば



広報紙アプリ「マチイロ」

スマートフォンやタブレットで「広報薩摩川内」を読むことができます！ダウンロードしてぜひご利用ください。



Android版

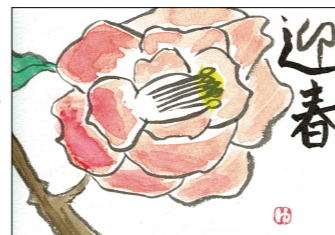


iOS版

問合せ先/本庁広報室広聴広報G(内線 633)

1羽の鶴 東郷町でウォーキングしているときに田んぼに止まっている1羽の鶴を見かけました。なぜ出水市じゃなく東郷町にいるのだろうと思いましたが、2年前にも4羽の親子の鶴が飛来しているのを見かけました。「君はあの時の子どもなのか、とうとう1羽だけになったのか、とうとう1羽だけになっちゃったんだね。出水市にはたくさんいるよ。もうすぐ北帰行だね。来年は仲間を連れて元気な姿で東郷町に帰ってきてね」と鶴に願うばかりでした。(チエコちゃん・66歳)

母子寡婦福祉会 樋脇支部会の活動 昨年末、母子寡婦福祉会樋脇支部会員の5人で、Aコープ市比野店での赤い羽根共同募金活動を約2時間行いました。赤いジャンパーを着て、募金箱を首に掛け、1円でもいいからという気持ちで懸命に声を張り上げると、たくさん募金という善意が集まりました。人口減少が進むわがまちにも心ある人たちがいるんだと感動したところ。母子寡婦福祉会福祉団体で、毎年12月24日に活動していて、もう何年になるでしょう。(奥園和子)



シーちゃん・66歳

迎春 他にも社会貢献として、母子会の運動会も実施していて、母子世帯の子どもたちは、「学校の運動会よりも、とても楽しかった」と言ってくれました。(奥園和子)

キラリ★ひと・みらい



わが家の宝物です。仲良く元気いっぱい育ててね☆(双子ママ)

提出・問合せ先/本庁ひとみらい政策課(内線 4741) hitomirai@city.satsumasendai.lg.jp

結婚・出産・就職時の記念写真や家族で撮った写真など、皆さんからの投稿をお待ちしています。

(読者のひろば 投稿様式)

今月のプレゼント

今月掲載された方のうちお1人に株式会社海連の「干芋(150g)」をプレゼント。鹿児島県産「紅はるか」を100日以上低温熟成し、焼いてから干し芋にしたもので、天然の甘味たっぷりのスイーツです。株式会社海連は、いも焼酎に使用するサツマイモの加工などを行う会社で、サツマイモに関するさまざまな商品開発を行っています。



株式会社海連 (港町 360 番地 16) 026) 3034

その他、掲載された方には、竹ノート(A5版)をプレゼントします。

